

## 経済学部におけるキャリアガイダンスの実施方法及び教育・指導内容

経済学部は、本学部の学生が卒業後に自己の資質を向上させ、社会的・職業的な自立を図るために必要な能力を形成することを目的として、以下のような実施方法と教育・指導内容でキャリアガイダンス（社会的・職業的自立に関する指導等）を行う。

### 1. 実施の方法

①本学部のキャリアガイダンスは、下記の表に記載されているように段階ごとの正課教育と正課外教育・指導に区分した教育・指導内容をもって実施する。

②キャリアガイダンスの教育・指導は、教育委員会と就職委員会による合同委員会の責任のもとに計画・実施・改善を行う。

③正課教育は、主に教務委員会の責任のもとに、経済学部の教育目的に沿って立案・実行される。

④正課外教育・指導は、主に就職委員会の責任のもとに経済学部の教育目的にそって立案・実施される。

⑤教員は、各自の授業科目に応じてキャリアガイダンスを実施する。

⑥就職委員会は、キャリアセンターと協力して、学生の就業意識を向上させるための環境整備に務める。

### 2. 教育・指導内容

段階	正課教育	正課外教育・指導
1	<ul style="list-style-type: none"><li>・「大学入門科目（必修）」を通じて、将来の職業・人生像などを念頭において自己の将来像を描かせる。</li><li>・ 現代生活に不可欠の情報処理能力や外国語能力を教養教育科目である「情報処理科目」や「外国語科目」を通じて身につけさせる。</li><li>・ 教養教育科目である「主題科目」を通じて、職業人・市民として必須の知識と教養を身につけさせる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・入学時のオリエンテーションで将来の職業選択と関連して大学生活や学業について考えさせる。</li></ul>
2	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2年生後半からの少人数教育（演習）のなかで職業や人生についての将来像を具体化させていく。</li><li>・ 専門科目の授業を通じて職業選択につな</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>就職支援関係企業や就職支援アドバイザー、OB・OG、各種企業や団体から講師を招いて、キャリア形成や就職活動、企業情報に関する講演</li></ul>

	<p>がる知識や情報を与える。</p>	<p>会を開催して、学生の職業選択に有益な情報や知識を提供する。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターンシップを奨励して、職業体験を通して学生が自己の職業像を描くことを支援する。</li> <li>・ 演習を通じて、プレゼン能力の涵養などによって学生の就業力を高める。</li> <li>・ 専門科目の授業を通じて職業選択につながる知識や情報を与える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種就職説明会に参加させる。</li> <li>・ 就職委員が企業を訪問して就職関連情報の収集などにあたり、学生の就職を支援する。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門科目の授業を通じて職業選択につながる知識や情報を与える。</li> <li>・ 演習を通じて、プレゼン能力の涵養などによって学生の就業力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種就職説明会に参加させる。</li> <li>・ 就職委員会は企業からの求人情報を学生に提供して就職活動を支援する。</li> </ul>